

令和七年度旧花輪小学校記念館展示会

花

ひ

ら

く

あ

ず

ま

の

国

の

彫

物

師

— 東村花輪の彫物師の歴史 —

10/25(土)



11/30(日)



【詳細はこちら!】

開館時間：10時から16時まで(最終入館時間は15時30分)

入館料：個人 200円(小中学生は50円)

団体(20名以上)160円(小中学生は30円)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

主催：みどり市教育委員会文化財課

交通案内：北関東自動車道太田薮塚インターから車で約50分

日光宇都宮道路清滝インターから車で約60分

わたらせ渓谷鐵道花輪駅から徒歩約5分

会場：旧花輪小学校記念館1階展示室

所在地：群馬県みどり市東町花輪191

連絡先：0277-76-1933

令和七年度旧花輪小学校記念館展示会

花ひらく

あずまの国の

彫物師

能楽院 欄間 関口文治郎作

群馬県内には板倉町雷神社や桐生市天満宮といった、華美な彫物装飾をもつ社寺が多くみられます。こうした彫物装飾は、17世紀前半に造営された日光東照宮の影響が大きく、当時の政治的・文化的中心地であった江戸でも流行したことから、近世社寺の特色のひとつとも言われています。

ところで、かつて東村花輪周圀が「彫物師の里」と呼ばれ、関東地方各地に優れた作品を残した花輪出身の彫物師たちがいたことは、あまりよく知られていません。それではなぜ花輪で多くの彫物師が登場したのでしょうか。また、彼らはどのような優れた作品を世に残したのでしょうか。

本展示会は花輪の彫物師の歴史を追い、作品を観ることから、この問いかけに答えたいと思います。